

社会福祉法人グロー(GLOW)
～生きることが光になる～

公開講座



生笑一座 公演会

参加費
無料

2018年 **12月8日** 土

13:30~15:30

(13:00~受付開始)

長寿社会福祉センター 大教室

小学生以上の方ならどなたでもご参加いただけます。

1
講演

助けてといえる社会へ

講師: 奥田知志

(NPO法人抱樸理事長、生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、第19回糸賀一雄記念賞 受賞者)

2
公演

生きてさえいればいつか笑える日が来る

出演: 生笑一座(いきわらいちざ)

サバイバルな生活の知恵(段ボールハウスの秘密、空き缶集めのルール、食べ物を大事にする方法など)について、実践を交えながらご披露したり、お芝居として演じたり、上手な「助けて」の言い方、元気の出る声の出し方(歌つき)などのハウツーも子どもたちにも分かりやすい形で紹介します。

主催: 社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～

共催: 滋賀県社会福祉協議会、公益財団法人糸賀一雄記念財団

後援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、滋賀県医師会、滋賀県看護協会、滋賀県救護施設協議会、滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会、滋賀県児童成人福祉施設協議会、滋賀県保護司会連合会

出演者・講師紹介



① 一座が始まったきっかけ

座長である「蛤 牡蠣右衛門」こと奥田知志は、ある日ふと思った。どうしても豊かになったこの国で子どもたちが、自らを追い詰めてしまうんだろう。そんな気持ちを仲間に相談をすると「わしらもおんなじような気持ちになったことがあるぞ。どうやったら生きていけるか、ちょっとわしらが話してみようか」「ありがとう。一人で悩まず、仲間に話してみても、良かったよ。よし、デビュー公演は、2013年8月、福岡県だな！」から始まりました。

② 一座の伝えたいこと

住む家や家族を失った経験からわかったことや見えてきたこと、そんな自分を真剣に大切に思ってくれる人がいたこと、「生きてさえいれば、いつか笑える時が来ること」を子どもたちに伝えたいと思います。そして、困ったとき、苦しいときは遠慮しないで、「助けて」と言いなさい。「助けて」は恥ずかしい言葉ではないということを知ってもらいたいと願っています。



撮影：タカオカ邦彦

奥田知志 プロフィール

滋賀県生まれ。1990年にホームレス支援団体・北九州越冬実行委員会事務局長に就任する。また同年、日本バプテスト連盟東八幡キリスト協会牧師に就任。2000年には、NPO法人北九州ホームレス支援機構が発足し、理事長に就任(その後、2014年7月NPO法人抱撲と名称を変更)。2014年には、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事。現在、法人の活動はホームレス支援に留まらず、生活困窮・孤立者支援事業、介護福祉事業、障害福祉事業、地域生活定着支援事業、子供・家族まるごと支援事業など、多岐に渡る活動となっており、その活動のリーダーとして活躍している。2017年に第19回糸賀一雄記念賞 受賞。著書に『もうひとりにさせない』(いのこのことば社)、『助けて』と言える国へ(共著 集英社)など。

申し込み欄

参加ご希望の方は必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送でお申込ください。

※定員に達し次第締め切り

Fax 0748-46-8288

氏名	ご記入いただいた個人情報、プログラムに関する目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。
年齢	
連絡先(電話番号)	
住所	
所属	

お問合せ／送付先

社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2

電話：0748-46-8188 FAX：0748-46-8288(平日9:00～17:00)